

1. 週休2日制モデル工事(現場閉所)

別紙

○完全週休2日達成率の計算方法

$$\text{完全週休2日達成率(\%)} = \frac{\text{対象期間における土曜日、日曜日及び祝日を現場閉所日とした日数}}{\text{対象期間の土曜日、日曜日及び祝日の日数}} \times 100$$

※ 小数点第2位以下切り捨て1位止めとする。

※ 祝日：国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

○現場閉所率の計算方法

$$\text{現場閉所率(\%)} = \frac{\text{対象期間における現場閉所日の日数}}{\text{対象期間の日数}} \times 100$$

※ 小数点第2位以下切り捨て1位止めとする。

○工事費の補正対象確認方法

- ・当初設計時は①により経費を計上する。現場閉所の達成状況①～③に応じ経費を計上する。
- ・契約後、現場閉所の達成状況①～③に応じ経費を変更する。

- ① 28.5% ≤ 現場閉所率 : 補正する。(【労務費】1.05 【機械経費(賃料)】1.04 【共通仮設費率】1.04 【現場管理費率】1.06)
- ② 25.0% ≤ 現場閉所率 : 補正する。(【労務費】1.03 【機械経費(賃料)】1.03 【共通仮設費率】1.03 【現場管理費率】1.04)
- ③ 21.4% ≤ 現場閉所率 : 補正する。(【労務費】1.01 【機械経費(賃料)】1.01 【共通仮設費率】1.02 【現場管理費率】1.03)
- ④ 21.4% > 現場閉所率 : 補正しない。

※ 「現場閉所日」とは、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された日を指す。(ただし、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合は閉所として取り扱うものとする。)

※ 「対象期間」とは、「工事開始日(工期の始期日または設計図書において規定する始期日)」から「工事完成日(完成届に記載のある完成した日)」までの期間から非対象期間を除いた期間を指す。

【非対象期間】

- (1) 準備期間：工事開始日から現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事が開始されるまでの期間)
- (2) 後片付け期間：本体工事及び仮設工事完了後から工事完成日までの期間(事務手続、後片付け等のみが残っている期間)
- (3) 夏季休暇(3日間)： 8/14 ~ 8/16
- (4) 年末年始休暇(6日間)： 12/29 ~ 1/3
- (5) 工場製作の期間
- (6) 工事事務等による不稼働期間
- (7) 天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間
- (8) 受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間

2. 週休2日制モデル工事（交替制）

○対象者の休日率の計算方法

$$\text{対象者の休日率(\%)} = \frac{\text{対象者の休日数}}{\text{対象者の対象期間の日数}} \times 100$$

※ 小数点第2位以下切り捨て1位止めとする。

○休日率の計算方法

$$\text{休日率(\%)} = \text{対象者全員の休日率の平均(\%)}$$

※ 小数点第2位以下切り捨て1位止めとする。